第３期睦沢町子ども・子育て支援事業計画（案）に対する意見等と町の考え方

|  |  |
| --- | --- |
| 寄せられた意見・質問 | 町の考え方 |
| P32：  ○学校給食を「生きた教材」として捉え、米は「むつざわ米」を使用するとともに、食材には睦沢産品の使用や安心安全な食材の割合を増やすなど、食に対する理解・関心を高めるとともに、郷土愛を育みます。  ↓  ○学校給食を「生きた教材」として捉え、米は「むつざわ米」を使用するとともに、食材には睦沢産品の使用や有機食材など安心安全な食品の割合を増やすなど、食に対する理解・関心を高めるとともに、郷土愛を育みます。  『有機食材の検討』という趣旨が一般の方にも伝わればと思い、追加で意見させていただきます。  当初、懸念として挙がっていたハードルの高さは生じず、具体的なワードが含まれていることで共通の理解を得やすいと考えます。 | 学校給食に安心・安全な食材を提供することは、町としても大切にしたいと考えております。  ただし、有機食材については、安定した食材の確保やコスト面、現在の給食運営体制との調整など、さまざまな課題もあるため、現時点ではすぐに具体的な導入を進めることが難しい状況です。そのため、今回の計画書では「有機食材」という表現は見送らせていただきました。  また、「食材」と「食品」について、それぞれの意味や使い方には違いがあると認識しております。学校給食においては、主に調理を前提とした材料を扱うため、「食材」という言葉を使用しております。  今後も、子どもたちにとって安心・安全でより良い給食の提供を目指してまいります。 |